

6年2組 いきいきタイム学習活動案

日時 平成16年10月15日(金) 5校時

場所 6年2組教室

児童 6年2組 男子23名 女子17名 計40名

指導者 渡辺 信子

1 単元名 「自分を見つめて～今、自分にできること」

2 単元の目標

- (1) これまでの自分やこれからの自分に関心を持ち、自分の設定した課題解決に向けて計画的に活動しようとする。
(総合への関心・意欲・態度)
- (2) 自分らしさを大切に、これからの自分を考え、課題を設定することができる。(課題設定の能力)
- (3) お互いに調べたことを交流し合いながら自分の願いを生かした活動を教え合うことができる。
(協力、協調して活動する能力)
- (4) 活動計画にそって、意欲的に今、自分にできることに取り組むことができる。(問題解決の能力)
- (5) 今、自分にできることを活動してきて、個々の思ったことや感じたことを話したり聞いたりすることができる。
(学習活動にかかわる技能・表現力)
- (6) 自分らしさを再確認し、これからの生き方を考えることができる。(自己の生き方を考える能力)

3 単元について

(1) 設定の理由

本単元は、3学期まで続く大単元の中心部分にあたり、今、自分にできることを考え活動してみることにより、これからの「自分」の生き方を12歳なりに考えることをねらって位置付けた小単元である。

本大単元は、それぞれの活動の中で目的意識をはっきりとをもって、調べる・体験する・まとめる・伝えるという活動を計画的に進めていく力が必要となってくる。各教科で培った力を駆使しながら、自分を調べたり、体験したりして感じたことや考えたことをしっかり伝えることは、自分を見つめる上でも六年生の今の時期にふさわしい単元であると思われる。大単元ではあるが過去・現在・未来の自分を見つめる単元構成は無理なく自分を見つめることができ見通しをもちやすい単元配列になっている。また小単元「今、自分にできること」では、自分にできることを考え、調べたり体験したりすることでこれからの自分の生き方を強く意識するであろう。自分らしさを再確認し、これからの自分の生き方を考えることで、いろいろなことに積極的にかかわろうとする態度を育てることが期待できる。

(2) 児童について

児童は、6年生になって最初の単元「体験発表会をしよう」で、4月下旬に実施した修学旅行の班別学習で、体験したことをわかりやすく5年生に伝えようと班で話し合い、自分たちに合った表現方法で意欲的に発表することができた。しかし、班の友達に頼って、意欲的に活動できない児童もいた。

本大単元の導入部分にあたる「自分史づくり」では、今の自分を分析し、そのルーツを探ろうと自分の今までの足跡を調べることにより、自分らしさや様々な人から支えられていることを知ることができた。また、調べたことを互いに聞き合う場を多く設定したことにより友達の調べ方でよい所を自分の調べ活動に生かして調べ活動を深めることができた児童がいた。しかし、生育歴や家庭環境により調べ活動に個人差が生じ、

十分に調べることができなかった児童もいた。次の単元の「自分史紹介」では、「自分史づくり」で調べてきたことをいろいろな形式にまとめ、お互いに見合ったり簡単な発表会も行ったりした。すると、どの児童もいろいろな人にお世話になって成長してきたことや今の自分は今までの12年間にあったことと繋がっていることを分かることができ、改めて家族や周りの方々への感謝の気持ちをもつことができた。

そこで、これからの自分の生き方を簡単にでも考え、その生き方に繋がっていくような「今、自分にできること」をそれぞれ個人で課題設定し、調べたり体験したりすることで視野を広げこれからの自分の生き方を見つめ直させたいと考える。また、調べたり体験したりしたことを交流することにより

、さらに自分の生き方を広く深く考えることができると思われる。

(3) 指導にあたって

「つかむ」段階では、「自分にできることさがし」の単元でお聞きした話の感想を交流させたり自分史をふり返らせたりしたことから、なりたい自分を考えさせ、なりたい自分に近づいていけるように「今、自分にできること」を考えさせたい。その際、今まで活動してきた小単元の繋がりを確かめながら自分らしさを大切にしたい課題を作ることができるようにさせたい。また、子どもだけで解決できない課題を作る児童が多くいると思われるので、課題解決できそうかどうか、どのようにすれば解決できるか個別に支援しながら見通しをもたせ活動計画を立てさせたい。

「さぐる」段階では、似た課題ごとに小グループを作り、小グループの活動が重ならないように調整しながら計画にそって意欲的に活動させたい。校外で活動するグループには自分達で調査・体験活動の依頼も行わせたい。活動が多数に分かれるため進度がそろわないと思われるが個別指導しながら計画的に活動できるよう支援したい。また、活動の様子を交流する場を多く設定し自分達の活動に生かしていくようにすることにより、より広く深く学習活動ができるように進めたい。

「まとめる」段階では、どんな目的で「今、自分にできること」を活動してきたのかふり返らせながら調べたり体験したりしたことをまとめ、活動して考えたこと感じたことをみんなに伝えようという意識をもちながら表現させたい。また、多くの児童と交流することにより自分が体験できなかったことを知ることができるようにさせ、自分の生き方を考えるときの参考になるようにさせたい。

「いかす」段階では、今回調べ体験したことがこれからの自分を見つめ考えるための基となるのでこの単元が終わっても続けて行えそうな取り組みを考え活動するよう意欲づけるとともにこの単元を通して考え感じたことを自分達の暮らしに生かしていくような態度を育てこれからの生き方を考えさせたい。

本単元は、単元全体を通して「話すこと」「聞くこと」が主な活動となってくる。そこで国語科『二つの意見から』で学習したことを生かし、相手の立場や意見を考えながら話を聞いて調べたり体験したりさせたい。また、調べたことをもとに自分の意見が聞き手に分かるように話の組み立てを工夫して発表できるようにしていきたい。

5 本時の学習活動

(1) ねらい

・「なりたい自分」に近づくために、今自分にできることは何かを考えることができる。

(2) 展開

| 段階 | 学 習 活 動 | 時間 | 教師の支援(＊)と評価() |
|------|--|----|--|
| つかむ | 1 本時の活動内容を確認する。 2 本時の学習課題を確認する。 「なりたい自分」に近づくために、 今自分にできることは何か、考えよう。 | 3 | ＊前時までの学習活動を振り返らせ、本時の活動内容を確認させる。 ＊本時の学習課題を確認し、活動の見通しをもたせる。 |
| さぐる | 3 「なりたい自分」を発表する。 4 「なりたい自分」にもとづいて、今、自分がやってみたいことについて考える。 ・やってみたいことについて書く。 | 30 | ＊前時までに考えたことを発表し合い、友達の考えに共感したり、自分の考えを明確にしたりさせる。 ＊ふだんの生活の中で、お聞きしたお話と関連するようなことを自分達もやっていないか想起させる。 ＊ になりたいから、今 をやってみたい、という形式を提示し、自分なりの考えをもたせるようにさせたい。 自分の考えをもつことができたか。 |
| まとめる | 5 小グループで交流し合い、さらに全体へ広める。 ・小グループで交流し合う。 ・全体へ広める。 | 7 | ＊お互いの話を聞いた後、感想を言い合い、交流させる。 自分の考えを伝えたり、友達の考えをしっかりと聞くことができたか。 |
| いかす | 6 学習を振り返る。 7 次時への見通しを持つ。 | 5 | ＊本時の活動の成果と課題を自己評価させ、ペアでも相互評価させる。 (自己評価カード) |

「自分をみつめて」

になりたい

・自分の将来とこれからの生き方

・今、自分にできること

今、 だから を努力したい

・達人の生き方を探って

・自分史紹介

・自分史づくり

自分史紹介

なりたい自分を書く
その1

お話し

授業 なりたい自分を書く
その2

自分にできること